

できる

セ・ポシブル



日本の新しい意識の始まり

マチルド・ジュリアン&ジョナサン・カレン監督作品

概要:

- 2 ページ: あらすじ
- 3 ページ: 新しい意識の始まり
- 4 ページ: 監督 マチルド・ジュリアン&ジョナサン・カレンについて
- 5 ページ: この映画の始まり
- 6 ページ: ロードムービー
- 7 ページ: クラウドファンディング
- 8 ページ: 映画の中で何を見ることができる?
- 9 ページ: 活動家達との出会い
- 10 ページ: そして確かな証言を通した人々との出会い
- 11 ページ: 連絡先
- 12 ページ: 協賛

協力プロデューサー: ロレンス・ラフィット と ケビン・アモン



あらすじ

2011 年 3 月の福島悲劇以来、日本におけるエコロジーの取り組みは増大する一方です。パーマカルチャー、再生可能エネルギー、持続可能な開発、地域通貨、共同体の生活といったものの中で、社会を前進させ、新しい生活様式を提案するために行動に移る日本人。

日本とエコロジーに熱心な若いカップル、マチルドとジョナサンは全てを捨て、これらの変動の中心人物達に会いに行く決心をしました。8ヶ月間の日本の旅を通し、イニシアティブと地域的な解決策を発見するために日本のオルタナティブで活動的なコミュニティの核心について国を縦断しつつ取材しました。

出会い毎に掛けられた同じ激励の言葉は、
可能を意味する「できる」、
フランス語だと「セ・ポシブル」。



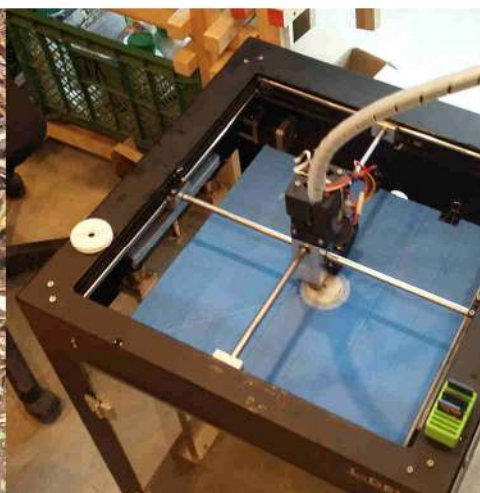


新しい意識の始まり

日本は人口の減少、低成長、戦争の脅威といった難局の時代に直面しているというのに、新しい取り組みが湧き起り、多くの多様性を見せています。たった一つの方法は存在せず、各々ができることを自分なりにやること。

非常に規制された日本社会とは対照的に、コミュニティにはルールもリーダーもなく、いわば皆が望むがまま、自由に行動するのです。

このドキュメンタリー映画は、多くのやる気と希望的な証言を通じて調和と生きる心得の紛れもないレッスンです。





監督 マチルド・ジュリアン&ジョナサン・カレンについて

日本とエコロジーに熱心な30代の若いカップル。

マチルドは言語障害治療士。ジョナサンはヨーロッパにおいて日本のアート作品を販売する元企業家で日本語を流暢に話します。

将来の設計を持続可能な生活様式の中で行うことに熱心な彼らは、最良の行動様式は同じ価値観を持つ、敏感な人々の日常生活を分かち合いに行く事であると決心。こうしてウーフ（世界に広がる有機農場での機会）を通じ、ボランティアとしてホストを手伝いながら食事と宿泊場所を提供される旅にとりかかりました。

この冒険の当初、彼らは映画を作る予定ではなく、予算はとても限られていました。



映画の始まり

三ヶ月間ウーフの生活に没頭し、食事の際のホスト達とのやりとりから、彼らは日本におけるオルタナティブのネットワークの豊かさに気づきます。彼らは日本のオルタナティブを発見する冒険に乗り出すため、ウーフをしながら旅する計画を中止。

この体験を誰かと共有したい欲望に取り付かれ、映画の知識は全くないにもかかわらず4Kカメラを買い、屋久島にあるエコビレッジアペルイで撮影を開始。

予算の総額はなく、ましてやいつかこの映画が完成し、日の目を見る保証さえないにもかかわらず、彼らは映画製作を可能とする取り組みやインタビューを最大限撮影することに着手。

この瞬間から旅の終わりまで、彼らはヒッチハイクでしか移動せず、彼らのホスト宅、あるいはカウチサーフィンに通じて知り合った住民宅に泊めてもらうことになります。



オルタナティブ(持続可能な)活動を行う場所 や活動家達を紹介するロードムービーを指針 とするシナリオ



3500 キロのヒッチハイクを含む 5000 キロの旅を通して、監督達は持続可能なエコロジー活動をしている15ヶ所に私達を連れて行ってしてくれます。それは田舎のたった一つの家族であったり、都会の大きなコミュニティであったりしますが、彼らはたくさんのインタビューを撮るためにカメラを手に、背中にリュックを背負い旅行します。



映画の中に
何がある？

神山メイカースペース

DIY (自分自身でやる)

**非暴力
コミュニケーション**

アースデイ東京

パーマカルチャー
(永続可能な農法)

上勝町 ゼロ・ウェイスト

80%のゴミをリサイクル

上司のいない会社

都会型エココミュニティ アズワン
ネットワークコミュニティ

**エネルギー
の抑制**

公立
菊川西中学校

フェルデンクライスメソッド
とパーマカルチャー教育

ルールも

サイハテエコビレッジ

リーダーも無い

子供たちを信用する

オルタナティブスクール

森の学校楠学園

トランジションタウン浜松

(庭が暮らしの森になる)
フォレストガーデン

エコビレッジアペルイ

自主独立

奈良の山々

伝統的な技術・知識

トランジション藤野

地域通貨

客が満足した分だけ支
払う、「投げ銭」スタイル

コミュニティカフェ
原っぱカフェ



活動家達 との 出会い

三宅洋平：音楽家・政治活動家・社会活動家

ベルギーで生まれ、「犬式」「(仮)ALBATRUS」のフロントマンとしてメッセージを伝え続ける稀代のカリスマ。

その口から発される言霊のひとつひとつは、音楽に留まらず政治にも波及し、多くの人々に「自分の在り方」を問い続けている。



テンダー 創作者

1983年生。火起こしから電子回路まで、先人の技術を引き継ぐ1万年目のこども。環境問題や争いを解決する手段として、先住民技術と対話を重んじる。職業はヒッピー。

1983年東京生まれ、太平洋沿い育ち。カリフォルニア州立大学サンタクルーズ校(UCSC)でサステナビリティ教育を学生と共に設立し、その後、意識を深めるためにコスタリカのジャングルに移住。現在、東京で都会型パーマカルチャーと共感コミュニケーションなどを教えている。ギフトエコノミー(与え合いの生態系)で成り立つ「東京アーバンパーマカルチャー(TUP)」を主宰、全ての命が大事にされ、みんなが活かされる文化を創造中。

ソーヤー海 共生革命家

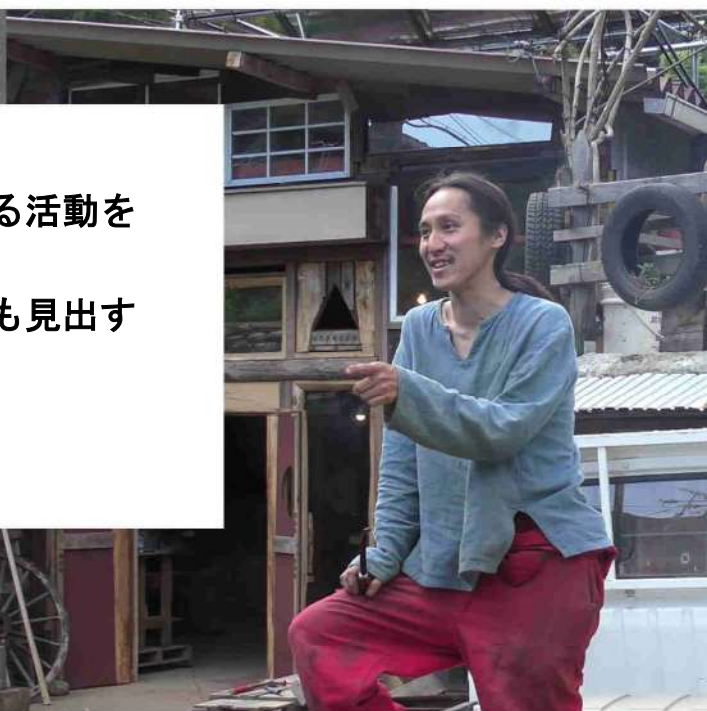
そして確かな証言を通した 人々との 出会い



教師、医療トレーナー、農業従事者、ジャーナリスト、地方政治家、僧侶、職人、高齢者、学生、若い夫婦など。

彼らの個性とその話はやる気をたくさん起こさせるでしょう。

映画は変化への展望とそれぞれが熱中している活動を語ってくれた約15人の発言を集めました。
そこに我々は将来に対するそれぞれの希望をも見出すでしょう。



彼らの話によって、私達は日本文化への理解を深め、調和や生きる心得、それに实际的な知識や技術、古いしきたりといった概念を発見することができるでしょう。

連絡先

メール: jcarene@gmail.com

電話: 06 79 08 34 38

インターネット:



WWW.DEKIRU-MOVIE.COM

協賛金のお願いはこれから日本でクラウドファンディングを作ります。その時ご協力してください。フランスでは現在行っています。ウェブサイトはKISS KISS BANK BANKです。

マチルド・ジュリアン & ジョナサン・カレン監督作品

できる セ・ポシブル

日本の新しい意識の始まり

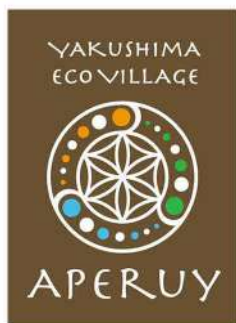
協力プロデューサー: ロレンス・ラフィット と ケビン・アモン





協賛

Écovillage Aperuy



Guest house Chikyuu-Yado



Dynamic Labo



Guest house Konkimura



Kankaku



Transition Town Hamamatsu



Transition France



そして皆様のたくさんのご参加お待ちしております。